

# 日本選挙学会

## 2007年度第4回理事会議事録

日時：2008年3月15日（土）13：00～15：30

場所：早稲田大学・西早稲田キャンパス・3号館2階・第3会議室

出席者：田中・河崎・池谷・岩崎・川人・川戸・河村・杉本・谷・堤・平野・安野・山田・湯浅・和田（以上、理事）西澤（2009年度開催校）・増山（企画委員長）・今井・高安・名取（以上、幹事）

### 1. 各委員会の活動状況について

#### ・企画委員会

増山委員長から、2008年度大会プログラム最終版について説明がなされた。ポスターセッションには20件ほどの応募があったが、一部を分科会に回し、4名の辞退があったため、14件となったことが説明された。つぎに河崎事務局長から、プログラムは、来年度の振込用紙とともに3月中に発送し、会員に到着する予定であることが報告された。

#### ・年報編集委員会

山田第23号委員長より、第23号が発行されたことが報告された。また紀要10号については、論文を、投稿論文1編で構成することも報告された。また、もう1編の投稿を研究ノートでの掲載予定であったが、修正過程で論者が体調を崩し、修正稿提出締め切り間に合わなかったため掲載が見送られたことも報告された。なお、当該論文については、第一次査読に関する情報と合わせ、次期査読委員会に引き継ぐことも合わせて報告された。

つぎに河村第24号委員長から、まず、第24号に4本の投稿があり、査読委員会発足後、査読を始めることが報告された。また、現在、現在書評の選定を進めていることも報告された。

つづいて、年二号体制に変更するにあたり、現状のままの号体制を続けるのか、巻・号体制に変更するのかについて、理事会で検討して欲しい旨の要望が出された。審議の結果、巻・号体制を採用することが承認された。なお、1巻を通じた通しページの採用については、検討を続け、次回理事会にて決定することが確認された。

#### ・文献委員会

小西委員長から（河崎事務局長代読）業績調査の回答状況について、回答者は51名、内PC32名（うち21名が添付ファイル）、FAX8名、郵送11名であることが報告された。つぎに、紀要に掲載する際の様式について、キーワードの分類は行わないことが報告された。さらに研究業績リストは、『選挙研究紀要』廃止後、ウェブ上に掲載することが報告された。

#### ・選挙管理委員会

杉本委員長から、2007年度理事選出選挙の運営を通じて、理事選出規程・覚書と実態の

間に、いくつかの点で齟齬が生じているとの指摘とともに、改正案が提示された。

審議の結果、本件は本理事会で処理することは時間的に不可能のため、杉本委員長による改正案も含めて本理事会から次期理事会への申し送り事項とすることになった。

## 2. 2008年度総会・研究会の開催について（日本大学）

杉本大会委員長から、企画に基づいて研究会の会場と総会の手配が終了したことが報告された。また、岩崎理事から、ホームページは2月半ばに開設され、公式HPからもリンクが貼られたことが報告された。

## 3. 2009年度総会・研究会の開催について（同志社大学）

西澤大会委員長から、2009年度大会日程を、慣例に従って5月16日、17日とすることが報告された。

## 4. 大会ペーパーのweb配信について

田中理事長から、選挙学会ウェブサイトの改善（報告ペーパーのアップロード）、大会開催時のペーパールームの廃止、ウェブ配信実施のための予算計上の三点について諮られた。審議の結果、予算計上については承認、ウェブサイトの改善（ペーパーのアップロード）については2008年度大会から試験的に実施すること、ペーパールームの廃止については開催校の収支状況の精査も含めて継続審議とすることになった。なお、ウェブサイトの改善とペーパールーム廃止の件については、次期理事会への申し送り事項とすることも確認された。

## 5. 電子ジャーナル化の進捗状況について

河崎事務局長から、『選挙研究』の電子ジャーナル化の進捗状況について報告され、とくに著作権の取り扱いについてJSTと協議を続けており、著作権の専門家と相談しながら対応していくことが説明された。これに対して、著作物の二次利用に関する規制が緩和される可能性があるので、法改正の動向を見ながら対応すべきであるとの意見が出された。

## 6. 査読委員会規程の制定、編集委員会規程の改定について

河崎事務局長から、査読委員会規程と査読委員会・論文査読要領の制定、および編集委員会規程改正案が諮られた。審議の結果、三件ともに承認された。ただし査読委員会規定については、文言の修正・文言の統一をはかることが条件された。また査読要領の改正が理事会事項であることも確認された。

つぎに田中理事長から、査読委員長として竹下俊郎（明治大学）会員が推薦され、承認された。次いで副委員長として1会員が推薦され、承認された（副委員長名は理事会では挙げられたが、公表はしない）。

## 7. その他

新入会員4名と、退会2名が承認された。

以 上